

がん検診を受けましょう

死因のトップ「がん」

がんによる死亡率は、平成26年人口動態統計では、全体の28.9%です(全国)。

「日本人のおよそ3人に1人が、がんで死亡している。」ともいわれ、いまだに死因のトップです。福島県でも死因のトップはがんで全体の26.1%です。

早期発見が大事です

がん＝不治の病と思われがちですが、全体で見れば、半分程度のがんは治るといえます。たとえば、胃がんでも早期であれば、ほとんどの方が完治します。ただし、早期のがんは症状がでません。では、どうやって早期のがんを見つけるのか、それが「がん検診」です。

がんを治すには、症状が無いうちに、定期的に検査することが大事なのです。

現在各市町村が主体となり、右記の5つのがん検診が実施されています。

それでも、なぜ、いまだに死因のトップなのでしょう。それは検診受診率の低さにありました。

日本の乳がん検診、子宮頸がん検診は、OECD(経済協力開発機構)加盟国30カ国の中で最低レベルに位置しています。欧米の検診受診率が70%以上であるのに対し、日本は20~30%ととても受診率が低いのが現状です。

早期発見のメリット

①手術の負担が少ない

例えば、早期の胃がんや大腸がんなら、お腹を切ることなく、内視鏡でがんの部分を切除することができます。また早期の乳がんなら、乳房を残す手術が可能です。

②放射線治療、薬物治療など治療期間が短い

③入院日数が短い

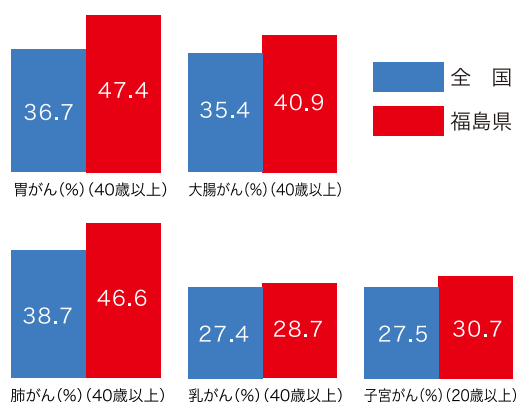
入院日数が短ければ、経済的負担も少なくて済みます。

④治療後の日常生活にも影響が少なく、職場への復帰も早くできる

がん検診は、加入している医療保険の種類に関わらず従来どおり、市町村で受けることができます。お住まいの市町村が実施する検診を確認して積極的に受診しましょう。

種類	検査項目
胃がん	問診及び胃部エックス線検査など
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診など
肺がん	問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診など
乳がん	問診、視診、触診及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ)、超音波検査など
大腸がん	問診及び便潜血検査など

福島県のがん検診受診率(2013年)



出典:国立がん研究センターがん対策情報センター「都道府県別がん検診受診率データ(国民生活基礎調査データ)」(2013年)参照

※乳がん検診、子宮がん検診は女性のための数値